

# フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「わかちあい」・「ありがとう」へ



## 基本情報 2023年度の累計 (2022年度寄贈365ト提供368ト)

寄贈 190.1ト前年同期比 89.9% 提供 193.9ト前年同期比 90.4%

10月

### 寄贈食品計 22.5ト

企業・生協等	13.8ト
フードドライブ	8.7ト
寄付金購入	0.0ト

### 提供食品計 349回 31.9ト

行政・社協	69回	4.7ト
地域フードバンク	109回	11.2ト
子ども食堂等	144回	11.0ト
施設・福祉・外国関連	27回	5.0ト

紙幅に限りがあり、  
敬称略で報告します。

### 寄贈(入庫)

入庫重量22.5トは前年比56%、前月比61%。2023年度の寄贈が190トを超えた。

#### ○事業者寄贈

マルハニチロ(冷凍魚、冷凍野菜)、山崎製パン(パン)、コカ・コーラ(飲料)、相鉄(米)相鉄ローゼン(米)、ミツハシライス(米)、花巻農協(米)、日本食研(冷凍肉・魚、たれ、ドレッシング)、カルゲン製菓(イオン飲料)、フードバンクTAMA(米、その他)

#### ○防災備蓄品

日本たばこ産業、富士通、日本生命、相模原市、日本生命・労金連合、神奈川県大学、損保会館、ダイイチ、他

#### ○フードドライブ

イトヨーカドー(31店舗)、無印良品(39店舗)、そうてつローゼン(17店舗)、イオン、高島屋横浜店、ドコモショップ(5店舗)、三井住友信託銀行二俣川支店、東京炭酸、北洋銀行、港赤十字病院、大塚商会、日本ゼオン、金泉寺、JA神奈川中央会、JA横浜中里支店、JA横浜磯子支店、神奈川県、横須賀市、栄区役所、横浜市リベリオン事業団、中央労働金庫杉田支店、東芝労組MC支部、JP労組さがみ支部、三浦半島労協、神奈川県信用農業協同組合連合会、ユーコープ、パルシステム神奈川、生活クラブ、生活クラブたかつデポー、うらがCOOP、他

#### ○米一合運動/プロジェクト

戸塚地区連合・横浜労協戸塚支部

### 提供(出庫)

出庫重量31.9トは前年比71%、前月比102%。食支援を必要とする方の増加に出庫が上回る。

#### ○行政・社協・委託 37団体

横浜市・区社協、横浜ひとり親支援(横浜市母子寡婦福祉会)、川崎市、相模原市、横須賀市、鎌倉市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、海老名市、秦野市、伊勢原市、葉山町、藤沢市社協、平塚市社協、綾瀬市社協、二宮町社協

#### ○地域のフードバンク 52団体

たすけあい、カエド・ファミ、お福わけの会、カナンキリスト教会、川崎医療生協、くろーばーマーケット、さろんどて、さくらの森・ネット、神奈川フードバンク・プラス、報徳食品支援センター、食支援ネットかながわ、さろんどて、チームやどりぎ、マインドかながわ、FBふじさわ、FB浜っ子南、FB湘南、セカンドリーグ神奈川、ワカズコープセンター事業団、他

#### ○子ども食堂居場所等 100団体

SISA、青丘社、アフリカヘリティッジコミュニティ、おむすびころりん、かえで子ども食堂、キッズカフェ杉田、ふれあい友の会、子ども食堂がじゅまる、子ども食堂ハッピー、南湖子ども食堂波、パノラマ、ハレルヤ子ども食堂、ドリームセンター子どもカフェ、金沢子ども食堂すくすく、フリースペースたまりば、ひまわり、他

#### ○福祉・病院・外国関係 18団体

児童家庭支援センターかわわ、ブラジルSolidario、かながわ外国人すまいサポートセンター、カラー、スマイルネットありがとう、他

### 合意書締結団体

寄贈締結団体	281団体
提供締結団体	356団体
行政・社協	63団体
市民団体	293団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)	
フードドライブ回収拠点	349か所

### 賛助会員寄付状況

団体会員	222団体	712口	712万円
個人会員	315人	1829口	1,829,000円
寄付			
2023年度	7,884,924円		
累計	85,699,500円		

### 【新理事紹介】

組合員の思いを食支援につなげる  
取り組みをすすめます

生活協同組合パルシステム神奈川  
常任理事 里地 哲子さん



第6回通常総会で理事に就任しました生活協同組合パルシステム神奈川の里地哲子です。どうぞよろしくお願いいたします。

私たちパルシステム神奈川では、ご家庭で眠っている食品の提供を呼びかけ、配送センターなど県内18拠点でフードドライブを行っています。また、「フードドライブに協力したいけど、家に提供できる食品がない」という組合員のみなさんの声を受け、フードバンクかながわに要望が多い商品で一食分の食品をセットにした「おもいやりセット」という商品をつくり、通常の注文から支援ができる取り組みを2022年度からはじめています。

これまでは常温品のための「おもいやりセット」でしたが、今年11月1回企画では、冷凍品の産直わかめどっさりうどん1杯分、大きい焼売2個、産直米の焼きおにぎり2個がセットとなった「冷凍品のおもいやりセット」をスタートさせ、食支援の取り組みをひろげています。

これからもフードバンク

かながわの活動を通じ、  
組合員の思いをつなげた  
取り組みをすすめて  
いきたいと思ひます。

『おもいやりセット』  
(左)と申込チラシ(右)



## 食品を利用された方々からの「ありがとうの声」をご紹介します

♥いつもありがとうございます。自立を目指して日々働きながら生活しています。生きていくためにも仕事を頑張るためにも大切な食べものご支援はとてもありがたいです！こうして応援してくださる方がいることも励みになっています。本当にありがとうございます。😊

♥お米はすごく助かります。麺類もお昼ごはん等に役立っています。この企画を続けてほしいです。😊

♥子どもが簡単に食べられる食品はたいへん助かります。😊

♥食事代の節約が大変だったので救われました。本当にありがとうございました。😊

♥たくさんの寄付をいただきありがとうございました。十分に食事をとることができない日もある為、たいへん助かります。😊

♥いつもありがとうございます。学生のために開催して下さり言葉もありません。いつか恩返しができるよう、卒業に向けて精進して参りたいと思ひます。😊



# 10月のフードバンク



10月は各地でイベントが開催され、フードバンクかながわもフードドライブ回収ボックスを設置させて頂きました。神奈川県生協大会は4年ぶりの会場開催となり、普段はそれぞれに活動する生協の仲間が一堂に会して活動や思いを共有することができました。  
また、各地で開催されたスポーツイベントにも初参加しました。最初ほどのくらいのご協力が頂けるのかと不安でしたが、いざ始めてみれば事前の告知をご覧になっておせいの方がフードドライブ回収ボックス目指して来てくださいました。様々な場で食品ロス削減、身近にできる食支援活動について伝えていくことの大切さを実感しました。



フードバンクかながわ  
ホームページ



ろうきん杉田支店40周年記念  
お米40kgご寄贈



Micronメモリ ジャパン様



JA横浜中里支店様



北洋銀行様より缶詰他



視察・体験研修

労働金庫連合会の皆様



戸塚地区連合・横浜労協  
戸塚支部様



パナソニックオートモーティブ  
システムズ様



鈴江コーポレーション様  
災害備蓄品



損保ジャパンJSA中核会様  
フードドライブ品



ユーコープ湘南2エリアの皆様



うらがCOOPの皆様

## 各地で開催されたスポーツイベントでフードドライブを実施しました

10/21 (土) 日産スタジアム  
横浜F・マリノス  
サッカー Jリーグ試合にて  
寄贈品: 32.05kg、109個

10/22 (日) 富士通スタジアム川崎  
富士通フロンティアーズ  
アメリカンフットボール Mリーグ試合  
寄贈品: 13.065kg、42個



神奈川県生協大会フードドライブ開催  
2023.10.12 ワークピア横浜にて



アメリカンフットボール富士通フロンティアーズ  
29DB\_林奎佑選手(右) 53DB\_高橋孝綺選手(左)  
よりお米を寄贈頂きました。



基調講演でご登壇の環境活動家  
谷口たかひささん(写真左)  
募金にご協力頂きました。

## 食品受取団体 活動紹介 NPO法人霧が丘ぷらっとほーむ (横浜市緑区)

9月21日に、生き活き市民基金が主催した「居場所ツアー2023」に参加し、NPO法人霧が丘ぷらっとほーむが運営しているコミュニティカフェ「ぷらっとkircafe」を訪問し、代表理事根岸あすみさんから話を伺うとともに、ランチをいただきました。

この団体の特徴は、シニア世代の居場所づくりを行う「福祉のまち霧が丘」、外国の方との共生の活動をする「霧が丘インターナショナルコミュニティ」、子育て世代で活動する「街プラス」という3つの団体が1つになって横浜市の助成コンテスト「ヨコハマ市民まち普請事業」にチャレンジし、この助成金を使って地域の居場所をオープンしたことです。



横浜市緑区霧が丘は約50年前に開発された街です。高齢化が進み、3つあった小学校が一つに統合、その跡地にインドのインターナショナルスクールが10年前にでき、約800人のインド人が暮らす街に変化したのですが、「交流」がない中で文化の違いによる住民トラブルが起きていました。その中で、「シニア世代」「子育て世代」「外国籍の人」という3つのコミュニティが一つのチームになることは、お互いを知り、一緒に街をつくっていく関係づくりに役立ちました。2時間弱の滞在で多世代、多文化の人々が集い、活気のある空間ができていて、これからの地域の居場所のモデルを見た思いでした。チキンライスに旗が立った「大人様ランチ」も手作り感満載でおいしくいただきました。

(取材・文 / 監事 数寄真人さん)



引き続きお米のご寄付をお願いいたします

\*米一合から何トンでもお受けします。  
\*お金のご寄付やお米券もお受けしています。